

# 2012年3月期 第1四半期 決算補足資料

- 連結決算の状況
- 主要製品の売上の状況
- 開発品パイプラインの状況

## 参考資料

- ・2012年3月期第1四半期 セグメント情報
- ・2012年3月期第1四半期 業績と予想

2011年7月29日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



# 2012年3月期 第1四半期 決算概観(連結)

(単位:百万円)

	09年3月期 第1四半期	10年3月期 第1四半期	11年3月期 第1四半期	12年3月期 第1四半期	前年比
売上高	20,756	23,289	24,655	24,809	0.6%
営業利益	995	3,156	2,216	4,100	85.0%
経常利益	1,228	3,417	2,421	4,300	77.6%
当期純利益	540	1,976	1,799	2,697	49.9%

12年3月期 第2四半期 予想	前年比	12年3月期 通期予想	前年比
49,200	5.3%	106,500	2.3%
6,100	45.2%	16,600	1.0%
6,400	40.9%	17,200	0.5%
4,000	35.2%	10,900	△0.3%

## 12年3月期 第1四半期 連結業績(実績)

### 【売上高】

国内医薬品では、キプレス、ウリスは順調に推移しましたが、東日本大震災に伴う3月期末の流通在庫の増加による影響を受け、売上は前年に対して微減となりました。海外新医薬品は、主要製品の輸出が好調に推移し、前年を上回る実績となりました。その結果、連結売上高は248億09百万円(前年比0.6%増)となりました。

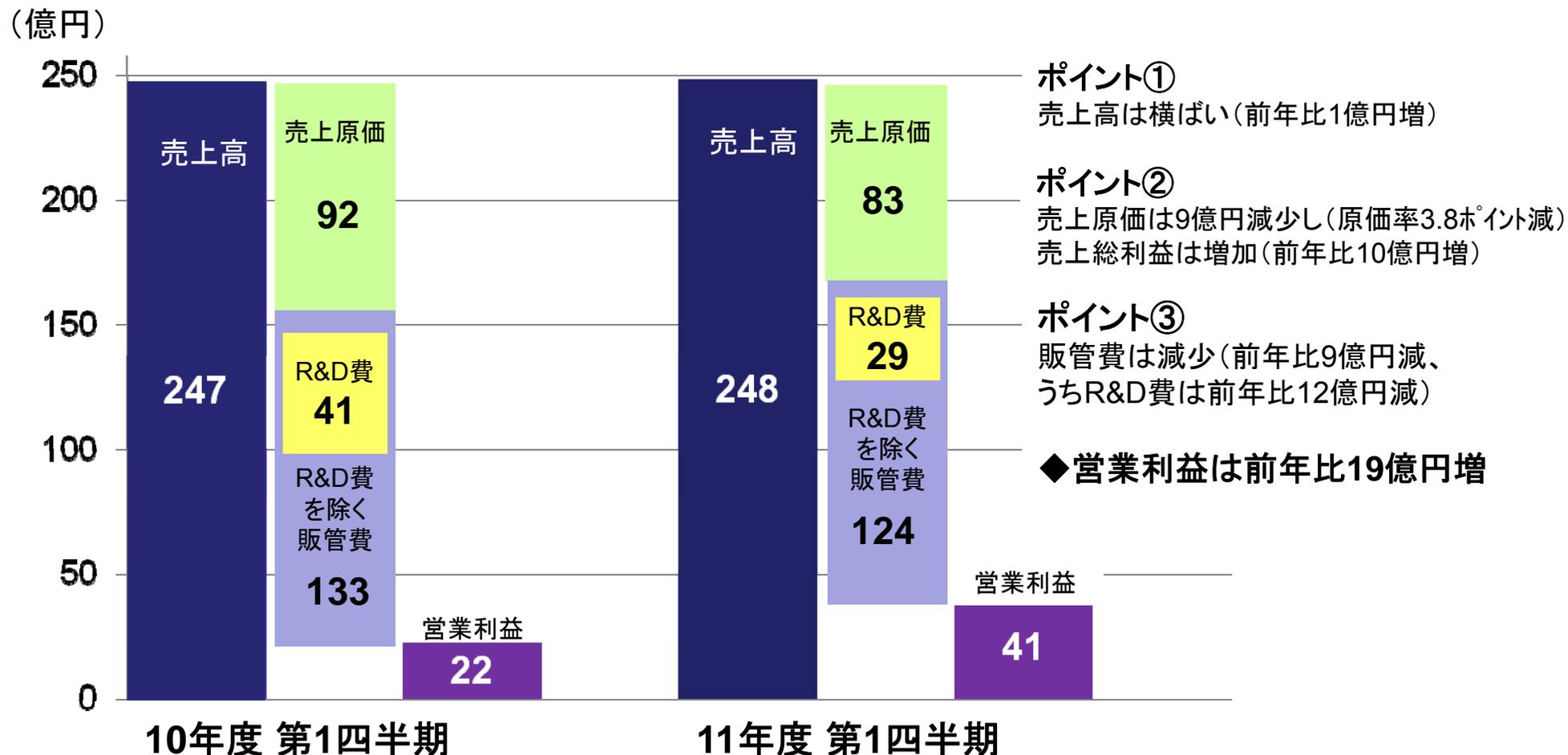
### 【利益】

売上原価率の低減により売上総利益が増加し、また研究開発費の減少により販売費及び一般管理費も減少しました。その結果、営業利益は41億00百万円(前年比85.0%増)、当四半期純利益は26億97百万円(前年比49.9%増)となりました。

## 12年3月期 連結業績(予想)

2011年5月11日に公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現段階では変更いたしません。  
(第2四半期予想に対する進捗度 売上高:50.4% 営業利益:67.2%)

# 2012年3月期 第1四半期 業績のポイント



# 2012年3月期 第1四半期 業績の状況

(単位: 億円)

	11年3月期 第1四半期 (実績)	12年3月期 第1四半期 (実績)	対前年
売上高(合計)	247	248	+1
医薬品事業	240	242	+2
◆新医薬品	208	211	+3
○国内	202	201	△1
○海外	6	11	+5
◆後発医薬品	21	21	△0
◆一般用医薬品他	10	10	△0
ヘルスケア事業 (スキンケア)	7	6	△1
営業利益	22	41	+19
経常利益	24	43	+19
当四半期純利益	18	27	+9

			対前年
■売上高	248億円		(+1)
◆医薬品事業	242億円		(+2)
●国内新医薬品	201億円		(△1)
		11.3(1Q)実績	12.3(1Q)実績
・キプレス		74	⇒ 83 (+9)
・ウリス		13	⇒ 16 (+3)
・ムコダイン		56	⇒ 51 (△5)
・ペンタサ		50	⇒ 46 (△4)
●海外新医薬品	11億円		(+5)
・ガチフロキサシン		5	⇒ 10 (+5)
◆ヘルスケア事業	6億円		(△1)
●ドクタープログラムの売上減少			(△1)
■営業利益	41億円		(+19)
◆営業利益率は16.5%と前年比7.5ポイント上昇			
●原価率:33.4% 前年比3.8ポイント低下 (37.2%⇒33.4%)			
<small>原価率の低い自社製品の売上増加(海外含む)、工場稼働率の上昇、キョーリン リメディオの原価率低下</small>			
●研究開発費率:11.8% 前年比5.0ポイント低下 (16.8%⇒11.8%)			
<small>* 41億円 ⇒ 29億円(12億円減少)         (前年同期にはKRP-108 Ph2b終了などの費用あり)</small>			
●販管費率(除R&D費):38.3% 前年比1.3ポイント上昇 (37.0%⇒38.3%)			
<small>* 91億円⇒95億円(4億円増加)</small>			
■当四半期純利益	27億円		(+9)

# 主な子会社の業績と予想

(単位:億円)

杏林製薬	11年3月期 第1四半期 実績	12年3月期 第1四半期 実績	11年3月期 通期 実績	12年3月期 通期(予想)
	売上高	215	225	925
営業利益	20	39	156	157
当期純利益	17	27	107	104

キョーリンリメディオ	11年3月期 第1四半期 実績	12年3月期 第1四半期 実績	11年3月期 通期 実績	12年3月期 通期(予想)
	売上高	24	24	103
営業利益	2	3	8	7
当期純利益	2	2	6	7

ドクタープログラム	11年3月期 第1四半期 実績	12年3月期 第1四半期 実績	11年3月期 通期 実績	12年3月期 通期(予想)
	売上高	7	6	28
営業利益	△0	△0	1	1
当期純利益	△0	△0	1	0

# 2012年3月期 第1四半期 主要製品売上の状況 *Kyorin*

健康はキョーリンの願いです。

(単位: 億円)

製品名		中間期		通期		第1四半期(4月~6月)				
		11年3月期 実績	12年3月期 予想	11年3月期 実績	12年3月期 予想	11年3月期 実績	12年3月期 実績	前年比	中間 進捗率	通期 進捗率
国内 新医薬品	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤 気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤)	141	162	345	365	74	83	12.0%	51.1%	22.6%
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	94	97	213	221	56	51	△8.7%	52.4%	22.9%
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	99	97	194	192	50	46	△8.3%	46.9%	23.7%
	ウリトス(自社販売) (過活動膀胱治療剤)	24	30	55	66	13	16	24.3%	52.4%	23.5%
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害改善剤)	20	18	40	38	10	9	△13.4%	48.8%	24.8%
海外 新医薬品	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	13	11	22	12	5	10	94.3%	92.0%	77.0%
一般用医 薬品	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	9	10	19	20	5	5	△0.9%	47.2%	23.0%

ガチフロキサシンはライセンシー向けのバルク売上とともに、ライセンシーの販売に応じたランニングロイヤルティを含んだ売上が計上いたしております

# 開発品一覧①(2011年7月29日現在)

Ph II b ~ 申請中

※: 前回(2011年3月期 5月11日)からの変更点を示す

開発段階		製品名・ 開発コード	薬 効	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
Ph III (09年12月)		ペンタサ (錠剤)	潰瘍性大腸炎	スイス フェリング社	寛解期潰瘍性大腸炎を対象とした新用法・用量 (1日1回投与)	
Ph III (10年11月)		ペンタサ (坐剤)	潰瘍性大腸炎	スイス フェリング社	活動期潰瘍性大腸炎を対象とした新剤型 (1日1回投与)	新剤型の開発
Ph III (10年8月)	(アメリカ) スカイファーマ : 申請中(09年3月) (欧州) ムンディファーマ : 申請中(10年3月)	KRP-108 (吸入剤)	気管支喘息 治療剤	イギリス スカイファーマ社	ステロイド及び長時間作動型β作動薬の配合剤で利 便性やコンプライアンスに優れる	・スカイファーマ社とライセン ス契約(08年4月) ・国内Ph II 終了(10年4月)
Ph II (08年2月)	Ph II (07年9月)	KRP-104	糖尿病治療剤	自社	DPPIV阻害剤。インスリン分泌ホルモンの分解を抑え ることにより血糖低下作用を示す。副作用の発現が 少ない糖尿病治療が期待される	・海外Ph II b 終了(11年3月) ・国内Ph II b 終了(10年3月)

※ 糖尿病合併症治療剤「AS-3201」については事業戦略上の観点から大日本住友製薬(株)との共同開発契約を解消し、開発品一覧から削除

# 開発品一覧②(2011年7月29日現在)

## POCプロジェクト(前臨床~Ph II)

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
Ph I (10年12月)	Ph II (POC) (10年12月) (ノバルティス)	KRP-203	自己免疫疾患、 臓器移植 IBD	自社	S1P受容体アゴニスト。新規メカニズムを有する免疫調整剤。既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	ノバルティスとライセンス契約(06年2月) 新たなライセンス契約 IBD(10年11月)
	Ph I (10年8月)	KRP-110	オピオイド誘発性便秘 難治性掻痒	自社	選択性の高いμオピオイド受容体拮抗薬。オピオイド鎮痛薬の鎮痛作用には影響することなく、副作用の便秘を改善することが期待される。また、種々の掻痒モデルにおいて掻き行動の抑制作用が確認されており、難治性掻痒の改善が期待される	
Ph II 準備中	Ph III メルツ社	KRP-209	耳鳴	ドイツ メルツ社	NMDA受容体拮抗作用及びニコチン作動性アセチルコリン受容体拮抗作用を有し、耳鳴に伴う心理的な苦痛、生活障害の改善が期待される	メルツ社とライセンス契約(09年11月) メルツ社:日本人を対象とした米国でのPh Iを終了(10年3月)
臨床試験 準備中	(欧州) アルミラール社 :申請中(11年6月) (アメリカ) フォレスト社 :申請中(11年7月)	KRP-AB1102 (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラール社	アセチルコリン受容体拮抗作用によりCOPDに伴う呼吸困難、息苦しさなどの諸症状を改善する長時間作用型気管支拡張薬 ①全身性副作用が少ない ②1日2回投与により1日を通じて症状、呼吸機能改善 ③最大効果発現までの時間が短い	アルミラール社とライセンス契約(11年2月)
Ph I 準備中		KRP-AM1977X (経口剤)	ニューキノロン系 合成抗菌剤	自社	①薬剤耐性グラム陽性菌(MRSAを含む)に対して優れた抗菌力 ②優れた体内動態(経口吸収、組織移行) ③前臨床試験で安全性はクリアー、高い安全性が期待	
Ph I 準備中		KRP-AM1977Y (注射剤)	ニューキノロン系 合成抗菌剤	自社		

# 開発品一覧③(2011年7月29日現在)

## 導出品の状況

開発段階	製品名・ 開発コード	導出先・ 共同研究先	薬効	起源	備考
申請中 (11年3月)	アルファガン/ アルファガンP	千寿製薬(株)	緑内障治療薬	アメリカ アラガン社	・アラガン社より導入 (ガチフロキサシン点眼液のクロスライセンス) ・千寿製薬(株)に導出(04年5月)
海外Ph II (05年8月)	ケタス	アメリカ メディシノバ社	脳血管障害治療薬	自社	・多発性硬化症の適応での日本、中国、韓国、 台湾を除く全世界における独占的な開発、製造 販売権を供与(04年10月) 08年4月 Ph II の結果を公表
海外Ph III (気管支喘息: 06年11月) 海外Ph II / III (間質性膀胱炎: 05年5月)	KCA-757	アメリカ メディシノバ社	気管支喘息治療薬 間質性膀胱炎治療薬	自社	・日本、中国、韓国、台湾を除く全世界に おける独占的な開発、販売権を供与 ・間質性膀胱炎: 07年1月に結果を公表、 開発を中断 ・気管支喘息: 海外Ph III 一旦停止
海外Ph II (POC) (10年12月)	KRP-203	スイス ノバルティス	自己免疫疾患、 臓器移植 IBD	自社	・移植用の免疫調節剤として、全世界の開発及び 販売権、自己免疫疾患及びその他の疾患用剤と して、日本、中国、韓国、台湾を除く全世界の 開発及び販売権(06年2月) 新たなライセンス契約 IBD(10年11月)

# 参考資料

# 2012年3月期 第1四半期 セグメント情報

## 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失

(単位:億円)

	売上高		セグメント利益	
	金額	対前年	金額	対前年
売上高合計	248	+2	41	+19
医薬品事業計	242	+2	41	+19
◆新医薬品	211	+4		
○国内	201	△1		
○海外	11	+4		
◆後発医薬品	21	△1		
◆一般用医薬品他	10	△0		
ヘルスケア事業計	6	△1	△0	△0
調整額	△0		1	△0

(注)「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用し、報告セグメントは【医薬品事業】【ヘルスケア事業】としております

# 2012年3月期 第1四半期 業績と予想(連結)

(単位:百万円)

	中間期		通期		第1四半期(4月~6月)					
	11年3月期 実績	12年3月期 予想	11年3月期 実績	12年3月期 予想	11年3月期 実績	12年3月期 実績	前年差額	前年比	中間 進捗率	通期 進捗率
売上高	46,707	49,200	104,069	106,500	24,655	24,808	153	0.6%	50.4%	23.3%
医薬品事業	45,373	47,800	101,271	103,500	23,955	24,182	227	0.9%	50.6%	23.4%
◆新医薬品	39,208	41,200	88,020	88,900	20,794	21,148	354	1.7%	51.3%	23.8%
○国内	37,708	39,900	85,284	87,100	20,167	20,076	△91	△0.5%	50.3%	23.0%
○海外	1,500	1,300	2,736	1,700	626	1,072	446	71.2%	82.5%	63.1%
◆後発医薬品	4,115	4,600	8,871	10,300	2,145	2,068	△77	△3.6%	45.0%	20.1%
◆一般用医薬品他	2,049	2,000	4,378	4,300	1,015	966	△49	△4.8%	48.3%	22.5%
ヘルスケア事業	1,333	1,400	2,797	3,000	699	626	△73	△10.4%	44.7%	20.9%
営業利益	4,201	6,100	16,443	16,600	2,216	4,100	1,884	85.0%	67.2%	24.7%
経常利益	4,542	6,400	17,110	17,200	2,421	4,300	1,879	△29.2%	67.2%	25.0%
当期純利益	2,959	4,000	10,927	10,900	1,799	2,697	898	49.9%	67.4%	24.7%